

ふれあいネットワーク

ホームページアドレス <http://www.wk-syakyo.or.jp>
メールアドレス wakkanai@wk-syakyo.or.jp

社協だより稚内

第164号
平成30年1月1日発行
社会福祉法人
稚内市社会福祉協議会
〒097-0024
稚内市宝来2丁目2番24号
TEL:0162-24-1139
FAX:0162-24-1159

新年のご挨拶

稚内市社会福祉協議会

会長 菅原 耕

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては良いお年をお迎えのことと存じます。また昨年社協にお寄せいただきました心温まるご寄付につきまして、紙面をお借りしまして厚く感謝申し上げます。

昨年度を振り返ってみますと、社協としては大変充実した一年でありました。誠にありがとうございます。

二〇一六年三月に成立した改正社会福祉法は、社会福祉法人に経営組織のガバナンスや財務規律の強化を求めており、昨年より当社協も体制整備を進めた一年でありました。

超高齢化はひとり暮らしや夫婦とも高齢の世帯を急増させ、同居家族の介護を当てにした状況は大きくかわります。介護は時代を映す鏡とよく言われ、その対応の難しさを実感する時代となってきました。一方、少子高齢化、地域や家族の機能変容、厳しい雇用情勢を背景に、経済的困窮や社会的孤立等生活困窮者への支援サービスはより重要となります。

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるには、社協をはじめ、町内会や民生児童委員、老人クラブ、各種団体とも協力関係を維持しつつ、福祉サービス提供者、ボランティア、NPOなどがネットワークを組み、それぞれの特徴を活かしながら、他人事になりがちな地域の課題を我が事とし、地域住民が主体的に解決を試み、市町村や専門職もバックアップしながら、丸ごとの総合相談支援を行う「我が事・丸ごと」の地域づくり（Ⅱ地域共生社会）が求められます。そのためには私たちは地域福祉の推進役として、地域の住民ニーズに応えた事業展開とより細やかな地域福祉の基盤づくりをめざす必要があります。

今後、市民生活に直結した事業の見直しと各種事業の充実と振り返り、継続性のある事業の組み直し、広範な社協PRと広報活動の充実、経営感覚を持った介護保険事業の運営を目指し、さらに種々社会情勢を勘案しながら事業を行います。

そのためには、役員一人ひとりが高い意識を持ち、常に必要とされる社協をめざして努めてまいりますので、本年も暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

稚内市総合福祉センター 稚内市老人福祉センター 年末年始休館についてのお知らせ

年末年始の稚内市総合福祉センター・稚内市老人福祉センターの休館及びお風呂は下記の日程です。

なお、1月9日(火)からは両センター共に通常会館となります。

休館 平成29年12月30日(土)から
平成30年1月8日(月)まで
通常開館 平成30年1月9日(火)から
お風呂 年内は12月26日(火)最終日
新年は1月9日(火)通常開館

お間違いのないように
お願いいたします。

社協会員会費の中間報告 4,386,920円

住民会費	2,889,920円
特別会費	263,000円
団体会費	159,000円
法人会費	1,075,000円

11月30日現在の実績額です。

ふれあいボウリング大会が 開催されました

今年の「12.9障害者の日記念事業」は、去る12月9日(土)朝日ボウルにおいて午前の部・午後の部関係者を含め185名の参加者を得て「ふれあいボウリング大会」を盛大に実施しました。

参加者は日頃からボウリングを楽しんでいる方や、久しぶりにボウリングをする方など様々でしたが、楽しい一時を過ごしました。また開催には、稚内大谷高等学校学生ボランティア、稚内ボウリング協会会員の方々のご協力いただきました。



コカ・コーラ社製品を いただきました

去る11月30日(木)当社協事務所において、北海道コカ・コーラボトリング(株)稚内販売課販売課長 星 誠様より、稚内市社会福祉協議会 菅原 耕会長にコカ・コーラを含むコカ・コーラ社製品72ケース(1884本)が手渡されました。



この寄贈は市内社会福祉施設に対して、クリスマスや年末年始の歳末見舞い品としていただいているもので、いただきました製品は、市内社会福祉施設に当会が責任をもってお渡しをさせていただきました。

